

令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 チルハピ富沢教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	スタッフより意見	今後の改善点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	5	1		パーティションを利用して、仕切ることによって環境設定ができる	利用人数に応じて部屋を広く使えるように配慮していきます
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		配置人数を満たしている	急な職員のお休みなど送迎に負担にならないよう協力・連携して支援していきます
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			室内に段差はない	曜日によって装具をつけている児童の靴を着脱する椅子を設置するなど環境整備をしていきます
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		業務の時間を短縮できるように改善できないか検討したい	いろいろな意見があると思うので話し合いをしながら改善していきます
	⑤	保護者等向け評価表を活用することによりアンケート調査票を実施して保護者などの意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6			毎年実施している 評価を真摯に受け止め、話し合いをしている	保護者様からの意見を受け止め、改善が必要なのはより良い支援を提供できるよう努めていきます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで公開している	今後もホームページ等で公開していきます
	⑦	第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか			6	第三者による外部評価は実施していない	今後検討していきます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			定期的に研修は行われている 研修が支援の時間と重なってしまうことがある	今後も積極的に多くの研修に参加し、研修を受けた職員は他職員にも内容を伝達し知識向上を目指していきます なるべく全職員が参加できるよう調整しながら参加していただきます
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			定期的にアセスメント・モニタリングを行い支援計画書の作成を行っている	全職員で関われるようケース会議を行い支援計画は担当制にして、専門的知識も入れて、情報共有を行います
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを活用しているか	6			アセスメントシートを活用し、聞き取る内容の偏りがないようにしている	評価をしっかりと行い、次のアセスメントに利用できるように全職員で関わっていきます
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			全職員で話し合いながらプログラムを決めている	職員間での意見がたくさん出るようにして、子ども達が楽しくなるようなプログラムを検討していきます
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	1		プログラムは決まっているのでその中の具体的な内容を検討する	具体的な内容を検討することで参加したいと思えるように工夫をしていきます
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		イベントをすることで楽しみにすることができている	子ども達が楽しみにするようなイベントを今後も検討して早めに告知していきます
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			専門性を活かした支援計画にしている	状況に合わせて、PTと協力して支援計画を作成したり、具体的に取り組みやすい支援計画を立案していきます
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			その日のMC、ピアノ、ドラムなど朝礼などで話し合う機会を作っている	毎日同じ担当ではなく、順番に回るように工夫をしています。練習をする時間の確保など時間の使い方も意識しております

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4		送迎などでその日のうちには振り返りを行うのは難しい 翌日の朝礼で行っている 申し送りを忘れないようにノートに記入する	なるべく当日のうちに、振り返りを行えるようにしていき、送迎でいなかった職員には申し送りノート、口頭で伝えるようにして情報共有の漏れがないようにしていきます
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			当日のうちに記録を入力している	記入者が偏らないように、送迎に出ない職員が記録を行うようにしています。また、定期的に見直しを行い支援の方向性に一貫性を持たせるように努めます
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			年2回のモニタリングは必ず行っている それ以外にも必要に応じて行っている	今後も継続して取り組んでいきます
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6			ガイドラインの読み合わせをして、支援計画を立案している	ガイドラインの確認・周知を行い、個に応じて今後もより良い支援を提供できるよう努めていきます
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			モニタリングや担当者会議には管理者が参加している	担当者会議等での情報共有をケース会議で行い、方向性を一致させて支援できるようにしていきます
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		送迎時に担任の先生と情報共有しています 情報共有したことを職員に伝達も忘れずに行います	利用児が不安にならないように担任との信頼関係を構築できるように職員間の情報共有の漏れがないようにしていきます
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連携体制を整えているか	6			医療的ケア児はいない 装具をつけている利用児がいる	問い合わせがあった場合は検討いたします
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		相談支援員を通して情報共有を行っている	必要に応じて保護者様と情報共有を行います
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2		まだ、対象児童がいない	対象児童がいれば、必要に応じて情報を共有を行います
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		研修に参加している	研修を受けてきたころに関しては伝達講習を行い、全職員で情報共有を行います
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	交流することが出来ていない	今後機会があれば検討していきます
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	参加できていない	今後機会があれば積極的に参加していきます
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		連絡ノートや送迎時に保護者と直接話が出来ている	今後も情報共有できる時間を大切に、職員間でも伝達、申し送りができるようにしていきます
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3		ペアレント・トレーニングの研修を受講してみたい	保護者に対しての対応力は個で差があるため研修などで資質の向上を図っていきます
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	6			契約時に書面を確認しながら説明を行っている	質問されたときに答えられるように全職員にも伝えていきます
	㉑	保護者からも子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		悩みを送迎時に聞いた場合、1人で解決できない時は持ち帰り管理者に話をして、折り返してもらう	まだ、職員の経験値がない場合は、持ち帰り管理者から連絡を取っていきます
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	5	実施して欲しいと願っている保護者いるような気がする	時期を見て、検討していきます

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		相談・苦情の窓口があることを契約時に説明している	そのような案件があった場合は迅速かつ適切に対応していきます
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			Instagram・ブログの投稿を担当制で行っている	これからも日々のInstagramの投稿を行い、活動の様子をリアルタイムでお伝えしていくようにいたします
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			SNS更新時には特に留意し作成している書類の管理等鍵付きのロッカーに収納している	今後も個人情報の取り扱いに十分に注意し、守秘義務を遵守していきます
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	6			電話やメールなど保護者のニーズに合わせて伝達方法を変えている	今後も伝達ツールを分けて、状況に合わせて行っていきます
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	実施できていない	問い合わせがあれば、見学や体験の受け入れを積極的に行ないます
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		契約時に説明、事業所内の壁面に掲示している	職員にも質問されたときに答えられるように情報の周知をしていきます
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	6			年間計画で決まっている	様々な想定で実施し、あらゆる場面で対応できるようにしていきます
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			全職員で研修に参加しています	積極的に虐待防止研修に参加し、日々の支援の見直しを定期的に行ないます
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束や行動制限を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約の際、保護者面談の時に説明をしている	行動制限について職員の理解を深め、全職員で共有を行います
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			アレルギー対応児は、契約の時に詳しく話を聞いている	今のところおやつ提供に関わるアレルギー児はいないが、今後入所した場合は全職員に情報を周知いたします
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			気づいたときには記入するようにしている	事例が起こった場合は全スタッフで共有し再発防止に努めていきます